



CQM(超短期経済予測モデル)

熊坂侑三 (APIR リサーチリーダー, ITエコノミーCEO)
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail:kumasaka@iteconomy.com

米国経済(週次)予測(2014年4月4日)

ポイント

- ▶支出サイドからの実質 GDP 予測値が下方に修正される一方、所得サイドからの実質 GDP は 1%程度の伸び率を保っている(図表)。
- ▶2月の企業在庫、3月の小売販売の更新によって支出サイドからの実質 GDP は上方に修正されるだろう。しかし、2014Q1(1-3月期)の経済成長率はせいぜい 1%~1.5%程度と思われる。
- ▶ヘッドラインインフレ率は 1.5%程度になっており、連銀は今のインフレ率を低すぎとみる必要はない。
- ▶Yellen 議長は経済・労働市場の slack(余剰)を証明するために、パートタイム労働者数など 5つの指標に注目するようになった。
- ▶しかし、金融政策はこれらの指標にほとんど影響を与えることはできない。
- ▶“出口”戦略の成功の可能性が低くなっている。

CQM 予測の動態：実質 GDP の成長率
2014年 Q1(1-3月期) (%、前期比年率換算)

